

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月7日

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 朗弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 浩彦 (TEL) 0463-34-2771
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,081	4.3	1,631	9.3	1,762	8.3	888	△15.7
2023年3月期	9,669	7.8	1,492	21.1	1,627	19.1	1,053	13.0
(注) 包括利益	2024年3月期		885百万円(△15.9%)		2023年3月期		1,053百万円(12.9%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	73.27	—	4.3	5.2	16.2
2023年3月期	86.30	—	5.3	4.8	15.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -100万円 2023年3月期 -100万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	34,017	20,668	60.8	1,724.83
2023年3月期	33,932	20,285	59.8	1,667.15

(参考) 自己資本 2024年3月期 20,668百万円 2023年3月期 20,285百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,522	△1,053	△502	8,506
2023年3月期	1,457	△1,238	△374	8,539

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00	341	32.4	1.71
2024年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00	362	40.9	1.77
2025年3月期(予想)	—	16.00	—	17.00	33.00		31.5	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,846	4.1	627	4.4	706	5.4	461	64.7	38.50
通期	10,389	3.1	1,759	7.8	1,916	8.7	1,253	41.1	104.62

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	12,306,795株	2023年3月期	12,306,795株
② 期末自己株式数	2024年3月期	323,900株	2023年3月期	139,100株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	12,122,971株	2023年3月期	12,204,353株

業績予想に関する注記

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
(1) 役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の経営成績

当連結会計年度における日本経済の概況は、先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇・中東地域をめぐる情勢・金融資本市場の変動、さらに令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分注意する必要があります。

経済産業省「特定サービス産業動態統計確報」（サンプル調査）によりますと、結婚式場業の2023年（1-12月）売上高は234,617百万円、組数は70,022組と前期に比べ売上高は増加、組数は減少しております。また、葬儀業の2023年（1-12月）売上高は594,487百万円、件数は501,533件と売上高・件数共に前期に比べ増加しております。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付け変更されたことにより、披露宴を伴う婚礼組数は持ち直しております。その中で、コミュニティーウェディングの新スタイルとなるコーディネートを誕生させ、SNSやWebでの露出及び施設周辺エリアへの告知を強化し新規顧客誘引に努めてまいりました。

その結果として各種対策の効果もあり、フォトウェディングを除く婚礼施行組数は前年同期に比べ増加となり、売上高は286百万円（前年同期比4.4%増加）、営業利益は43百万円（前年同期比22.0%増加）となりました。

② 葬祭事業

当事業は、平安レイサービス及びさがみライフサービスの2社で構成されております。

当連結会計年度において建物貸切型の小規模葬祭施設として2023年7月に小田原セレモニーホール別館「奏送館」、2023年11月に「湘和会館南町」を開業し順調に施行件数を伸ばしました。

さらに、ご家族の多様化するご安置ニーズに対応するべく、人の尊厳を大切に故人とゆっくり寄り添える貸切個室型安置室「貴殯室」をはじめとしたご安置設備の拡充を2023年12月「カルチャーBONDS藤沢」において実施いたしました。それに併せ、時間を問わずご面会頂けるよう仕組みを見直し、ご利用者のニーズに合わせてご安置設備を選択できるようにいたしました。

また、故人を生花で囲んで送る「花園」や思い出の品々で人柄を表現する「追悼壇」、オブジェや装飾と生花を融合させた「追悼生花祭壇」、重低音から超高音まで原音を忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」により故人を偲ぶ音楽葬をはじめとした自由葬の提案、その他社内制作によるオリジナル商品を通じてご家族の方々の想いを形にする提案を継続して行っております。

教育面では、当社独自となる生前相談の研修であるカウンセリングセールストーク研修、潜在的な想いを当社オリジナル商品を通じて具現化するコンサルティングセールストーク研修を現場で常に行えるよう、管理職から改めて実施いたしました。それに伴い、各拠点で分散対応していたメール生前相談を一元管理するコールセンター化を実施し対応力を強化、顧客満足度向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度において当社主要エリアにおける死亡人口増減率は前年同期に比べ下降しましたが、当社グループの葬儀施行件数は増加となりました。また、各種対策の効果により葬祭一件単価も増加したため、売上高は8,686百万円（前年同期比4.6%増加）、営業利益は2,476百万円（前年同期比10.9%増加）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、葬儀施行において互助会利用件数及び葬祭一件単価が増加したことにより、売上高は211百万円（前年同期比7.4%増加）、営業利益は122百万円（前年同期比13.8%増加）となりました。

④ 介護事業

当事業では、高齢者向け賃貸住宅などで収益は改善したものの、グループホームなどで教育期間中の人件費や物価高による運営経費の負担増加を補いきれませんでした。売上高は1,097百万円（前年同期比1.4%増加）、営

業利益は21百万円（前年同期比40.2%減少）となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は10,081百万円（前年同期比4.3%増加）、営業利益は1,631百万円（前年同期比9.3%増加）、経常利益は1,762百万円（前年同期比8.3%増加）となりました。葬祭事業において、新規拡大エリアでの施設開業期に新型コロナウイルス感染症の蔓延により営業活動が行えなかった影響を受け、234百万円の減損損失を特別損失に計上したほか、繰延税金資産の一部を取崩しました。これにより親会社株主に帰属する当期純利益は888百万円（前年同期比15.7%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

（2）当期の財政状態の概況

（流動資産）

当連結会計年度末の流動資産は、主に現金及び預金の減少31百万円により前連結会計年度末比32百万円減少し9,193百万円となりました。

（固定資産）

当連結会計年度末の固定資産は、主に土地の増加708百万円、投資有価証券の増加475百万円、供託金の減少910百万円により前連結会計年度末比117百万円増加し24,824百万円となりました。

（流動負債）

当連結会計年度末の流動負債は、主に未払消費税等の増加54百万円、未払法人税等の減少39百万円により前連結会計年度末比35百万円増加し1,444百万円となりました。

（固定負債）

当連結会計年度末の固定負債は、主に前払式特定取引前受金の減少346百万円により前連結会計年度末比332百万円減少し11,904百万円となりました。

（純資産）

当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金が当期利益の計上により535百万円増加し、自己株式は新規取得により149百万円増加した結果、前連結会計年度末比383百万円増加し20,668百万円となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は33百万円減少し8,506百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、獲得した資金は1,522百万円（前期比4.4%増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,538百万円、減価償却費611百万円、減損損失234百万円が計上された一方、前払式特定取引前受金346百万円の減少及び法人税等641百万円の支払いによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、使用した資金は1,053百万円（前期比14.9%減少）となりました。これは主に、供託金の払戻による収入910百万円、有形固定資産の取得による支出1,486百万円、有価証券の取得による支出484百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、使用した資金は502百万円（前期比34.1%増加）となりました。これは自己株式の取得による支出149百万円、配当金の支払い352百万円によるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立が進む一方で、不安定な国際情勢によるエネルギーや食料品価格の高騰、円安進行による賃上げもあり、当社に引き続き影響を及ぼすと思われま。

そのような環境下において、内製化における機械化・自動化推進によるコスト改善及び人材の適正確保を行い、生産性と労務効率向上を継続してまいります。

また、今後を見据えた葬祭新規店舗の出店、築年数の古い大型葬祭施設の改装、建替えによる投資を必要に応じて行い既存エリアのシェア率向上に繋げてまいります。

以上の状況を踏まえ、2025年3月期の見通しにつきましては売上高10,389百万円（前期比3.1%増）、営業利益1,759百万円（前期比7.8%増）、経常利益1,916百万円（前期比8.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,253百万円（前期比41.1%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での営業活動や資金調達等を行っていないことから、日本基準の適用を継続していくこととしています。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,662,665	8,631,051
売掛金及び契約資産	218,362	246,422
商品及び製品	44,301	40,567
原材料及び貯蔵品	119,511	147,351
その他	183,696	130,776
貸倒引当金	△3,090	△3,100
流動資産合計	9,225,447	9,193,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,534,548	17,840,463
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,293,687	△11,714,913
建物及び構築物（純額）	6,240,860	6,125,549
機械装置及び運搬具	820,735	875,135
減価償却累計額及び減損損失累計額	△624,543	△677,400
機械装置及び運搬具（純額）	196,191	197,734
工具、器具及び備品	1,626,606	1,663,538
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,434,911	△1,491,213
工具、器具及び備品（純額）	191,694	172,324
土地	9,139,469	9,848,178
建設仮勘定	182,115	238,572
有形固定資産合計	15,950,332	16,582,360
無形固定資産	67,457	54,053
投資その他の資産		
投資有価証券	117,231	592,365
長期貸付金	10,000	10,000
繰延税金資産	416,215	369,377
供託金	6,326,000	5,416,000
敷金及び保証金	1,531,243	1,501,855
その他	288,196	298,620
投資その他の資産合計	8,688,886	8,188,218
固定資産合計	24,706,675	24,824,631
資産合計	33,932,122	34,017,700

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	206,190	196,203
未払法人税等	377,670	338,103
未払消費税等	96,154	150,718
掛金解約手数料戻し損失引当金	1,210	1,201
その他	728,014	758,058
流動負債合計	1,409,240	1,444,285
固定負債		
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	182,862	198,240
資産除去債務	157,693	160,722
前払式特定取引前受金	11,775,271	11,428,936
その他	37,789	33,161
固定負債合計	12,237,528	11,904,972
負債合計	13,646,768	13,349,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	16,775,522	17,310,887
自己株式	△115,783	△265,725
株主資本合計	20,283,650	20,669,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,703	△630
その他の包括利益累計額合計	1,703	△630
純資産合計	20,285,353	20,668,442
負債純資産合計	33,932,122	34,017,700

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,669,592	10,081,906
売上原価	6,743,233	6,914,576
売上総利益	2,926,358	3,167,330
販売費及び一般管理費	1,433,875	1,536,167
営業利益	1,492,482	1,631,162
営業外収益		
受取利息	790	2,163
受取配当金	831	997
受取家賃	48,389	26,336
掛金解約手数料	25,942	46,621
その他	73,713	69,035
営業外収益合計	149,666	145,153
営業外費用		
供託委託手数料	301	300
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	1,210	279
保険解約損	529	527
減価償却費	9,894	10,626
その他	3,061	1,791
営業外費用合計	14,996	13,525
経常利益	1,627,153	1,762,790
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10,019
補助金収入	—	8,495
特別利益合計	—	18,514
特別損失		
固定資産圧縮損	—	8,495
固定資産除却損	24,799	—
減損損失	—	234,234
特別損失合計	24,799	242,729
税金等調整前当期純利益	1,602,353	1,538,576
法人税、住民税及び事業税	581,171	602,450
法人税等調整額	△32,013	47,897
法人税等合計	549,157	650,348
当期純利益	1,053,195	888,228
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,053,195	888,228

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,053,195	888,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	△2,334
その他の包括利益合計	63	△2,334
包括利益	1,053,259	885,893
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,053,259	885,893
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	785,518	2,838,393	16,052,474	△70,903	19,605,482
当期変動額					
剰余金の配当			△330,147		△330,147
親会社株主に帰属する当期純利益			1,053,195		1,053,195
自己株式の取得				△44,880	△44,880
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	723,048	△44,880	678,168
当期末残高	785,518	2,838,393	16,775,522	△115,783	20,283,650

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,640	1,640	19,607,122
当期変動額			
剰余金の配当		—	△330,147
親会社株主に帰属する当期純利益		—	1,053,195
自己株式の取得		—	△44,880
自己株式の消却		—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	63	63	63
当期変動額合計	63	63	678,231
当期末残高	1,703	1,703	20,285,353

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	785,518	2,838,393	16,775,522	△115,783	20,283,650
当期変動額					
剰余金の配当			△352,863		△352,863
親会社株主に帰属する当期純利益			888,228		888,228
自己株式の取得				△149,942	△149,942
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	535,365	△149,942	385,422
当期末残高	785,518	2,838,393	17,310,887	△265,725	20,669,072

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,703	1,703	20,285,353
当期変動額			
剰余金の配当		—	△352,863
親会社株主に帰属する当期純利益		—	888,228
自己株式の取得		—	△149,942
自己株式の消却		—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,334	△2,334	△2,334
当期変動額合計	△2,334	△2,334	383,088
当期末残高	△630	△630	20,668,442

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,602,353	1,538,576
減価償却費	576,195	611,332
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額 (△は減少)	△348	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△70	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,125	15,378
受取利息及び受取配当金	△1,621	△3,161
補助金収入	—	△8,495
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10,019
保険解約損益 (△は益)	529	527
固定資産圧縮損	—	8,495
固定資産除却損	24,799	—
減損損失	—	234,234
売上債権の増減額 (△は増加)	19,279	△28,060
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,862	△24,106
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,974	△9,987
前払式特定取引前受金の増減額 (△は減少)	△352,579	△346,335
その他	44,410	174,856
小計	1,933,185	2,153,235
利息及び配当金の受取額	1,391	1,488
補助金の受取額	—	8,495
法人税等の支払額	△476,702	△641,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,457,873	1,522,146
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△122,905	△112,075
定期預金の払戻による収入	122,905	110,000
供託金の払戻による収入	—	910,000
有価証券の取得による支出	—	△484,210
有価証券の売却による収入	—	16,989
有形固定資産の取得による支出	△1,235,773	△1,486,515
有形固定資産の売却による収入	2,715	361
無形固定資産の取得による支出	△11,683	△28,106
その他の支出	△24,193	△22,815
その他の収入	30,647	43,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,238,287	△1,053,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△44,880	△149,942
配当金の支払額	△329,858	△352,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374,738	△502,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155,153	△33,689
現金及び現金同等物の期首残高	8,694,913	8,539,760
現金及び現金同等物の期末残高	8,539,760	8,506,071

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の経営機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に冠婚葬祭の施行を中心に行っております。子会社である株式会社へいあんは互助会事業及び介護事業、さがみライフサービス株式会社は葬祭事業を行っております。また、子会社である山大商事株式会社は冠婚葬祭施行時の料理・返礼品等の提供を行っております。

したがって、神奈川県を中心とした地域において「冠婚事業」、「葬祭事業」、「互助会事業」、「介護事業」を報告セグメントとしており、各事業に含まれないものを「その他」としてしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部収益は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚	葬祭	互助会	介護	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	274,388	8,302,221	19	1,082,231	9,658,860	10,731	9,669,592
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	274,388	8,302,221	19	1,082,231	9,658,860	10,731	9,669,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	197,065	—	197,065	—	197,065
計	274,388	8,302,221	197,084	1,082,231	9,855,926	10,731	9,866,657
セグメント利益	35,605	2,232,657	107,852	35,927	2,412,041	65	2,412,107
セグメント資産	313,416	15,044,113	8,656,838	714,154	24,728,522	4,008	24,732,531
その他の項目							
減価償却費	22,439	472,352	42	19,001	513,836	142	513,979
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	102,276	1,474,075	522	11,117	1,587,991	912	1,588,904

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚	葬祭	互助会	介護	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	286,396	8,681,807	34	1,097,278	10,065,517	16,389	10,081,906
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	286,396	8,681,807	34	1,097,278	10,065,517	16,389	10,081,906
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,546	211,576	—	216,122	—	216,122
計	286,396	8,686,353	211,611	1,097,278	10,281,639	16,389	10,298,028
セグメント利益	43,446	2,476,123	122,688	21,473	2,663,732	898	2,664,630
セグメント資産	301,222	15,484,740	8,379,784	675,632	24,841,380	4,591	24,845,971
その他の項目							
減価償却費	17,037	480,195	41	21,105	519,379	922	519,301
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,850	1,313,353	—	23,254	1,344,457	—	1,344,457

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,855,926	10,281,639
「その他」の区分の売上高	10,731	16,389
セグメント間取引消去	△197,065	△216,122
連結財務諸表の売上高	9,669,592	10,081,906

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,412,041	2,663,732
「その他」の区分の利益	65	898
全社費用(注)	△919,624	△1,033,468
連結財務諸表の営業利益	1,492,482	1,631,162

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	24,732,531	24,845,971
全社資産(注)	9,199,591	9,171,728
連結財務諸表の資産合計	33,932,122	34,017,700

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	513,979	519,301	62,215	92,030	576,195	611,332
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,588,904	1,344,457	256,113	75,495	1,845,017	1,419,953

(注) 調整額は、報告セグメントに帰属しない減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

「葬祭事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、234,234千円であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,667円15銭	1,724円83銭
1株当たり当期純利益金額	86円30銭	73円27銭

(注) 潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は記載しておりません。
なお、1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,053,195	888,228
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,053,195	888,228
期中平均株式数 (株)	12,204,353	12,122,971

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

1. 代表取締役の異動

該当事項はありません。

2. その他の取締役、監査役の異動

(1) 新任監査役候補

役職名	氏名	就任年月日
社外監査役	中川 ゆき子	2024年6月27日予定

(2) 退任予定監査役

役職名	氏名	退任年月日
社外監査役	金田一 喜代美	2024年6月27日予定